

「比較結果」画面で「事業」タブが表示される場合の対処方法
(F X 4 クラウド(社会福祉法人会計用)ご利用の場合)

ご質問と回答

【質問】

財務諸表等電子開示システムとの連携において、取り込み用残高ファイルの切出しまで行いました。

「拠点区分・勘定科目等チェックツール」で財務諸表等入力シートと切り出したファイルの整合性をチェックしたところ、「事業」タブが表示されます。原因と対処方法は？

【回答】

1．原因

財務諸表等入力シートにある現況報告書に入力された事業等とT K Cシステムで設定している事業等に差異があるためです。

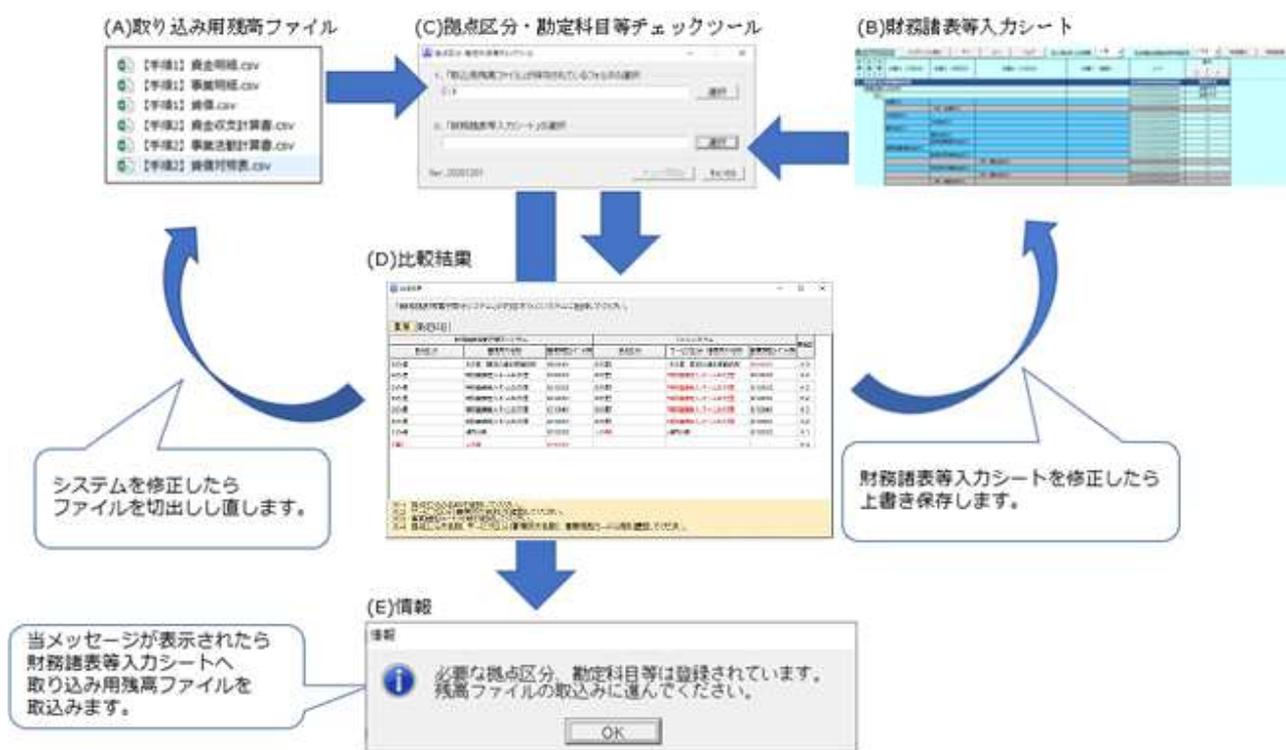
2．対処方法

次頁の の手順を参照し、対処してください。

「拠点区分・勘定科目等チェックツール」の流れと対処方法の確認

1. 拠点区分・勘定科目等チェックツールの流れ

拠点区分・勘定科目等チェックツールの流れは下図のとおりです。



2. 修正手順

- (1) 「比較結果」画面の右側にある「要確認」欄に表示されている 1～4 について、画面下部の説明文を踏まえ、財務諸表等入力シートにある現況報告書に入力された事業等と、TKCシステムで設定している事業等のどちらが正しいかを確認し、誤っている内容を修正してください。
- (2) なお、拠点区分、サービス区分(事業所の名称)については、全角や半角、「-」(ハイフン)と「ー」(長音)等も含めて完全に一致している必要があります。見た目上不明な場合は、「比較結果」画面の [ファイル切出] から CSV ファイルを切り出し、財務諸表等入力シートあるいは F X 4 クラウド (社会福祉法人会計用) へコピー・貼り付けし、一致させるようにしてください。
- (3) また、入力シートの「現況報告書」を確定している場合は確定を解除し、修正できる状態としてください。
- (4) 修正手順の詳細は次のとおりです。
 - 拠点区分の名称に誤りがある場合(1 に相当)
 - 1) 財務諸表等入力シートの誤りを修正する場合
 - a. 現況報告書の「セクション 1 1」にある「 -2 拠点区分名称」欄を修正します。
 - b. 財務諸表等入力シートを上書き保存します。
 - c. 財務諸表等入力シートを閉じます。
 - 2) TKCシステムに登録した名称を修正する場合
 - a. 【会計業務】 - 「基本情報」タブ - 「711 事業」で該当する拠点区分を青く反転します。

- b. [修正]をクリックします。
- c. 「計算書類上の事業名を別途定義する」にチェックがある場合はその名称を修正します。
チェックしていない場合は、「事業名」欄の名称を修正します。
- d. 再度、「決算業務」タブ - 「382 取込用残高ファイルの切出し」から、ファイルを切り出します。

サービス区分の名称(事業所の名称)に誤りがある場合(2 に相当)

1) 財務諸表等入力シートの誤りを修正する場合

- a. 現況報告書の「セクション 1 1」にある「 事業所の名称」欄を見直し、修正します。
- b. 財務諸表等入力シートを上書き保存します。
- c. 財務諸表等入力シートを閉じます。

2) T K C システムに登録した名称を修正する場合

- a. 【会計業務】 - 「決算業務」タブ - 「381 事業類型コード分類等」をクリックします。
- b. 該当する事業区分を選択します。
- c. 「事業所の名称」欄を修正します。空欄の場合、上記 2 . (4) 2)と同じ手順で確認し、修正します。
- d. 再度、「決算業務」タブ - 「382 取込用残高ファイルの切出し」から、ファイルを切り出します。

事業類型コード分類等に誤りがある場合(3 に相当)

財務諸表等入力シートで設定した事業類型コード分類等を T K C システムに転記します。

1) 【会計業務】 - 「決算業務」タブ - 「381 事業類型コード分類等」をクリックします。

2) 該当する事業を選択します。

3) 該当する事業の[入力]をクリックし、「事業類型コード分類」欄を修正します。

4) 再度、「決算業務」タブ - 「382 取込用残高ファイルの切出し」から、ファイルを切り出します。

上記 ~ 以外に誤りがある場合(4 に相当)

4 については入力項目に過不足があり、両者を比較できないものです。次の ~ の事例をご確認ください。項目ごとの修正方法は上記 ~ と同様です。

1) 下図のように、「事業」タブ上の表示で財務諸表等入力シート側のみ事業が表示される行と、T K C システム側のみ事業が表示される行が別々にある場合(実質は同じ事業)

財務諸表等電子開示システム			T K C システム			要確認
拠点区分	事業所の名称	事業類型コード分類	拠点区分	サービス区分(事業所の名称)	事業類型コード分類	
B の里	介護	02120201				4
			B の郷	通所介護	02120202	4

「拠点区分」、「事業所の名称」、「事業類型コード分類」のいずれも一致せず、上記 2 . (4) ~ の内容を判断できない状態です。これらの 3 つの項目を完全に一致させてください。

2) 下図のように、「事業」タブ上の表示で財務諸表等入力シート側のみ事業が表示される行がある場合

財務諸表等電子開示システム			T K C システム			要確認
拠点区分	事業所の名称	事業類型コード分類	拠点区分	サービス区分(事業所の名称)	事業類型コード分類	
B の里	通所介護	02120202				4

- a. 財務諸表等電子開示システムの現況報告書に入力した事業について、活動休止等により残高が発生し

ていない可能性があります。

当画面では、残高がある事業を対象としてチェックしており、上図のように残高がない場合はチェックの対象外となります。

現況報告書に当該事業の記載を残しておく場合は、ファイルの取り込みに進んでください。

b. 財務諸表等入力シート上で誤って事業を重複して登録している可能性があります。

財務諸表等入力シート上に登録した事業にもかかわらず、財務諸表等入力シート側のみ事業が表示される行がある場合は、事業を重複して登録している可能性があります。財務諸表等入力シートを見直してください。

3) 下図のように、「事業」タブ上の表示でTKCシステム側のみ事業が表示される行がある場合

財務諸表等電子開示システム			TKCシステム			要確認
拠点区分	事業所の名称	事業類型コード分類	拠点区分	サービス区分(事業所の名称)	事業類型コード分類	
			Bの里	通所介護	02120202	4

例えば、廃止した事業が表示されている場合は、残高の振替漏れの可能性があります。「事業別科目残高」等のメニューで、該当する事業の期末残高が各科目で0となるように振替が必要です。

なお、拠点区分の場合は前期末残高がある場合も対象となります。前期まで利用があった事業は財務諸表等入力シートの現況報告書に記載いただく前提です。

3. 「拠点区分・勘定科目等チェックツール」の実行

「取込用残高ファイル」が保存されているフォルダ及び「財務諸表等入力シート」を選択し、「拠点区分・勘定科目等チェックツール」を実行します。(上記1.の(C))

取り込み用残高ファイルまたは財務諸表等入力シートファイルのいずれかを更新した場合、その作業で不整合が解消されている可能性があるため、最新のファイルで実行します。

(1) 実行後、「比較結果」画面の「事業」タブが表示されなくなった場合

すべての事業で不整合が解消されたため「事業」タブ自体が非表示となっています。上記1.(E)のメッセージ表示後、財務諸表等入力シートに残高ファイルを取り込む作業に進んでください。

(2) 実行後、「比較結果」画面の「事業」タブが再び表示される場合(上記1.の(D))

再度上記「2. 修正手順」のとおり、見直してください。

レイアウト上、解消しなくても財務諸表等入力シートに残高ファイルの読み込みは可能ですが、取り込んだ結果が不整合となる可能性があります。この場合、手入力で残高の修正が必要です。

なお、財務諸表等入力シートに手入力する場合の操作、ご質問についてはヘルプデスクではお受けできませんのでご了承ください。

以上